

1 個人:2件

(敬称略:五十音順)

氏 名	所属または代表者	功 績 の 概 要
あさかわ しんいち 浅川 伸一	山梨県電波適正利用推進員 協議会 会長	多年にわたり、山梨県電波適正利用推進員協議会の会長として、地域に密着した電波の適正な利用のための周知啓発活動に積極的に取り組むなど、電波利用環境の維持に多大な貢献をした。
なかむら かつひで 中村 勝英	一般社団法人全国船舶無線 協会 水洋会部会 事務局長	多年にわたり、一般社団法人全国船舶無線協会水洋会部会事務局長として、義務船舶局のGMDSS無線設備の搭載要件の策定や保守要件の取りまとめに尽力するなど、日本国籍船舶の安心・安全な航行と通信の確保に多大な貢献をした。

2 団体:10件

(敬称略:五十音順)

団体名	所属または代表者	功績の概要
神奈川県立 海洋科学高等学校	校長 榑 彰義	多年にわたり、無線従事者資格養成課程の認定校として、無線通信を担う人材の指導育成に尽力し、多数の無線従事者を輩出するなど、電波利用の秩序の維持と発展に多大な貢献をした。
関東自動車無線協会 東京支部	支部長 村澤 儀雄	災害発生時における災害情報の収集・伝達のための実験を行い、タクシー無線の災害への耐性を実証するなど、災害発生時の自営無線局の活用に応じた大きな展望を開くとともに、電波の有効利用に多大な貢献をした。
北茨城市	市長 豊田 稔	市内に存在するデジタル化困難共聴施設の改修を促進するため、市が所有する光ファイバー網を活用することにより住民負担の軽減を図るなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
甲州市	市長 田辺 篤	市内に多数存在する新たな難視世帯の解消や共聴施設新設のため、地域の住民へ積極的な働きかけを行うとともに、独自の補助制度を創設するなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
全日本空輸株式会社 整備センター	取締役執行役員 整備センター長 満倉 達彦	登録検査等事業者制度の重要性を認識し、点検員を計画的に養成するとともに、航空機搭載無線機器の計測を自動で行う装置を独自に導入して的確な点検を行うなど、航空機の安心・安全な運航と通信の確保に多大な貢献をした。
高萩市	市長 小田木 真代	市内に存在するデジタル化困難共聴施設の改修や新たな難視地区の共聴施設の新設を促進するため、市が所有する光ファイバー網を活用することにより住民負担の軽減を図るなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
千葉県八千代警察署	署長 京本 和久	不法無線局の及ぼす社会的影響を重視し、当局との共同取締りを積極的に行い、多くの不法無線局を摘発・送検するなど、電波法令違反の防止に極めて大きな成果を上げ、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。
早川町	町長 辻 一幸	町内に存在するデジタル化困難共聴施設の改修を促進するため、自ら整備運営に携わることに伴って住民負担の軽減を図るなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
檜原村	村長 坂本 義次	村内に存在する新たな難視世帯の解消のため、共聴施設組合の新たな設立に向けて各地区の住民へ積極的な働きかけを行うとともに、独自の補助制度を創設するなど、地上放送のデジタル化の推進に多大な貢献をした。
山梨県笛吹警察署	署長 篠原 義政	不法無線局の及ぼす社会的影響を重視し、山梨県内の消防用の重要無線通信に妨害を与えていた無線局を排除するため、当局の要請に対して積極的に対応し電波法令違反者を摘発するなど、電波利用秩序の維持に多大な貢献をした。